

IELTS は同義語が死ぬほど大切です。必ず同義語も一緒に覚えましょう！！

動詞は使い方を一緒に覚えることも大事です。なので「invest A in B」といったように、目的語や前置詞も含めて、一緒に覚えましょう。「コロケーション」と呼ばれますが、こういった「セット」を知っているかいないかで **IELTS のスコアが大きく変わってきます**。

【注意】

この単語集は、Kumiko が経験から IELTS に役立つという観点から作成しています。

そのため、

- ・ 単語の意味や同義語は、IELTS によく出てくるものだけを載せており、辞書にある全ての意味を網羅しておりません。
- ・ 派生語に関しても、あまり一般的ではないものは載せていませんので、書いていない場合でも存在しないわけではありません。

要は、

覚える必要のない情報は載せていません。逆に言えば、このリストにある単語はすべて覚えてください。

※単語の意味の部分では、動詞の動作主としての主語は省略していますが、単語によっては、関係性をわかりやすくするために主語を「A」という形で入れていることもあります。

※単語の部分では A を主語にした能動態でも、例文では B を主語にした受動態になっていることがあります。これは「単語のもともとの意味は能動態だが、実際には受動態で使われることが多い」ということを伝えるためです。（例：be entitled to など。もともとは entitle 「資格を与える」という意味ですが、受動態で「資格を与えられる」という意味で使われることが圧倒的に多いです）

勉強法

一般的な単語の勉強法については、わたしのサイトの「IELTS に効く単語力を伸ばす、7ステップ勉強法」のページ (<http://nakabayashikumiko.com/words-sevensteps/>) をご参照ください。

こちらでは、この単語リストを使った、目標スコア別の勉強法を記載します。

【目標スコア 6.5 以上の勉強法】

- 1、まず単語、同義語、派生語、例文を丸暗記。このレベルの方は、すでに知っている単語もあると思いますが、この 150 語を「見て意味がわかる」だけではなく「使いこなせる」ことが目標です。
- 2、一番左の「単語」という箇所（英単語）だけ残し、あとは空欄にして印刷（空欄にしたときに間違っ保存してしまわないよう、別途ファイルを作ることをお勧めします）
- 3、自分に対してテストをする（書きでも口頭でも。スペルが弱い方は必ず書きでスペルも含めて答えあわせ）
- 4、間違っ単語、あやふやな単語だけ抜き出してリストアップ。単語ノートを作る。（単語ノートの作り方については、わたしのサイト <http://nakabayashikumiko.com/words-sevensteps/> を参照）
- 5、1~3 を再度行う。完全にできるようになるまで 1~4 を繰り返す。
- 6、左から二番目の「意味」という箇所（日本語）だけ残し、あとは空欄にして印刷（空欄にしたときに間違っ保存してしまわないよう、別途ファイルを作ることをお勧めします）
- 7、自分に対してテストをする（書きでも口頭でも。スペルが弱い方は必ず書きでスペルも含めて答えあわせ）

8、間違った単語、あやふやな単語だけ抜き出してリストアップ。単語ノートを作る。（単語ノートの作り方については、わたしのサイト

<http://nakabayashikumiko.com/words-sevensteps/> を参照）

9、完全にできるようになるまで 6~8 を繰り返す。

10、単語リスト内に出てくる単語を使って文章を作る。（講師など、誰かに添削してもらえるとベスト）

【目標スコア 6.0 以下の勉強法】

1、単語、同義語、派生語、例文を丸暗記。覚え方については、わたしのサイト <http://nakabayashikumiko.com/words-sevensteps/> を参照。とにかく、日常生活に「単語を覚える」という作業を組み込むことが成功のカギ。

2、特に覚えにくい単語をリストアップし、単語ノートを作る。（単語ノートの作り方については、わたしのサイト <http://nakabayashikumiko.com/words-sevensteps/> を参照）

3、一番左の「単語」という箇所（英単語）だけ残し、あとは空欄にして印刷（空欄にしたときに間違っ保存してしまわないよう、別途ファイルを作ることをお勧めします）

4、自分に対してテストをする（書きでも口頭でも。スペルが弱い方は必ず書きでスペルも含めて答えあわせ）

5、間違った単語、あやふやな単語だけ抜き出してリストアップ。単語ノートに印を付けていく。

5、1 を再度行う。完全にできるようになるまで 4 と 5 を繰り返す。

理想形は、単語を見たら意味だけではなく、同義語や使い方が思い浮かぶことです。そういう状態になるまで根気よく続けてください。